



ウイトラレポート 2009 年 1 月号

「ワイヤレス業界の巨人たち Qualcomm」

はじめに

今回は Qualcomm を取り上げる。Qualcomm は現在では工場を持たないファブレスのチップセットベンダーだが移動通信に参入してきた 1980 年代後半にはベンチャー企業といってもよいような会社だった。その Qualcomm が CDMA 方式を提案し、それを実用化するためにインフラ及び端末を供給するメーカーとなり、一時はオペレータとなることも辞さない勢いであった。

しかし、CDMA 方式が事業として軌道に乗ってくるとインフラ部門、端末部門を次々と売却し、現在は技術ライセンスとチップセット供給を行う会社になっている。アメリカ企業の典型ともいえる会社である。日本の会社は技術力があつたり、何かを発明したりしてもそれを実用化に結び付けて産業としての価値を生み出すことができるのは既存の大企業に限られ、移動通信システムのような大規模システムをベンチャー企業が提案して実用化に結びつけるのはほとんどない。

今回はこの Qualcomm のダイナミックな動きを分析するとともに、最近の Qualcomm の新しい動きについて述べる。